

# 省燃費アイテムの最終兵器

エンジンマネージメントを任意で制御し潜在能力を引き出すコントローラー



使い方は意外に簡単  
公表データを打ち込むだけでOK!

エンジンの調整と聞くとハードルが高そうだけど、調整方法自体はとっても簡単。メーカーのウェブサイトに公表されている推奨値を本体に打ち込むだけでOKとなる。例えばトヨタ・ウィッシュの推奨データの場合、ノーマル時と一番の変更点は2000rpmでのものとなり、その差は18度にも及ぶ。レーシングエンジンに例に出すと、体感レベルの分岐点は3度と言われており、18度の違いとなれば、その効果もわかるとういうものだ。



**使い方** ①電源のオンオフスイッチは向かって左側。スイッチオフ状態で、すぐに純正設定に戻る仕組みとなる。②制御設定を調整する際は、エンジンを空ぶかしして回転数を任意のところに合わせ、その領域での調整を本体に向かって右側のスイッチで変更する。右がアップ、左がダウンのスイッチとなる。③表示部左側のランプが上側に点灯する「バルブタイミング」の設定画面。写真の状態は「2」が2000rpmを表し、「+」と「18」で、純正設定に比べて+18度の設定画面だ。④こちらはランプが下側に点灯する「ミクスチャー」設定画面。「1」とピリオドが入るのは+500rpmを表し、1500rpmで、純正に比べて+1%、燃料を濃くする設定をしたときのものになる。

**取り付け** オーディオ類の配線加工をしたことがあるひとなら、十分対応できるレベル。エンジンコントロールユニットのハーネスに、取り扱い説明書の通り、エレクトロタップで配線するだけ。車種によっては、エンジンルームに置かれるなど、室内配線が面倒な場合もあるけれど、延長ハーネスもリリースされるので、手間さえ惜しまなければそれほど難しい作業とはならない。

トルク10~15%燃費20~30%アップが可能に!



**CAMCON CC-101**  
価格:3万9900円  
(延長ハーネス:4200円)

エンジンの制御を任意で変更し、隠された能力を引き出すコントローラー。調整可能な項目は、「バルブタイミング」と「ミクスチャー」の2つとなり、500rpmごとに、度数および割合(%)の増減でエンジン制御を変えられる。使用にあたっては、メーカーによる推奨値が公表されているので、メカに自信がなくても、数字を打ち込むだけで効果を望むことができる。



**商品キットには本体とハーネスのほか、取り付け用のキボシやエレクトロタップが入るので、意外にシンプルなものになる。**



**後面** 本体後面は、コネクターの差し込み口と、車種設定を行うディップスイッチがつく。車種に応じてこの小さなスイッチを指定通りに上げ下げする初期設定を行うことになる。



**前面** 本体前面には、表示画面とスイッチのみの構成となる。スイッチそのものは、左側にひとつ、右側にふたつの計3つのみ。



メーカーからの伝言  
**MAKER'S VOICE**

開発グループ・リーダー **高橋正人氏** 営業企画グループ **小泉友理香氏**  
「最近ではミニバン系のお客様からの問い合わせも非常に増えています。燃費にして25%アップすると、1回の給油で1400円ほど割安になって、1月に2回給油すれば1年で元が取れます! しかも燃費だけでなくトルク面でも効果を期待できますし、ぜひ主婦の方や、ファミリーカーユーザーの方にも使ってもらいたいと思います」

**ひと月2回の給油で1年で元が取れます!**

**CGM ★★★ ガイダンス**  
ガイド役:ハルク性能向上パーツを取り扱う雑誌に所属すること約6年。仕事柄、この手の商品は今まで数多く見てきている。  
自動車メーカーが世に出すクルマは、あえて能力そのものを抑え目に設定されていることは知っていた。つまり、このカベを取り払えば、エンジンならエンジン単体の能力は目に見えて上がってくる。ただし、そこには自己責任がついて回っていたのが、従来のスポーツパーツで、使方を誤ればトラブルを生じさせる可能性もあった。けれどこの製品は、あらかじめエンジンを導かないことを前提とした設定幅とし、さらに推奨値を独自に算出することで、ユーザーフレンドリーなものになっている。従来の省燃費アイテム以上に、その効果が目に見えやすいのも、オススメできる点と言える。

**効果を確認しやすくユーザーフレンドリーな本格機能品**

## 燃費向上効果実証テスト

**テスト条件**  
テスト車種:トヨタ・ウィッシュ  
コース状況:市街地100%  
コース距離:約8km  
車両設定:エアコン作動ON  
車載状況:4人フル乗車  
燃費計測機器:テクトム社製「燃費マネージャー」



平均燃費 **9.7 km/l** → 平均燃費 **12.1 km/l**  
**25% UP!**

**メーカー公証値通りの実力!**  
その効果を確かめるべく、ほぼ同じような混み具合の同ジャンルを使い、本体のスイッチをオンオフする以外はほぼ同一条件として比較実験。テスト機器にテクトム社の「燃費マネージャー」を使い、本体作動オン、オフ時のそれぞれの平均燃費を比べてみた。助手席に乗った感じでは、初見のクルマということもあり、体感でその差を感じることはできなかったものの、数字は効果を十分に物語る。メーカーがうたう「燃費にして20~30%アップ」をそのまま再現する25%アップという結果となった。

## 確実なエンジン駆動を約束する

**SUPER V BELT**  
価格:3990円~  
適合:国産車各車



**SUPER STRONG II TIMING BELT**  
価格:1万1800円~  
適合:国産車各車 (&ランチアインテグラレ16V)

## 油内のダストを確実にキャッチ

**MAG POWER II OIL FILTER**  
価格:2100円 適合:国産全車種



新開発の特殊な紙などを使い、純正品に比べてダスト量、鉄粉除去力を大幅にアップ。オイル通過性も考慮するなど効率アップにも貢献し、エンジンに掛ける負担を少なくしてくれる。

**確実な機能アップを実現するその他の省燃費アイテム**  
強化タイミングベルトは前欠け強度を大幅に向上させ、純正比2.6倍ものロングライフを実現する。ベルトも、耐久性、耐スリップ性にすぐれた強化品。ともにエンジンを正確に駆動させ、効率よく稼働させる意味合いで、エンジンの高効率化を果たしてくれる。

# Choice No. 046 POWER ENTERPRISE カムコン

エンジン設定を最適化しトルク&燃費両面を飛躍的に高める

高騰する一方だったガソリン価格も多少落ち着きを見せ始めているとはいえ、依然としてカー用品店の一角には省燃費グッズが並び、カーユーザーによる相変わらずの高い興味、関心が窺える。これだけ多くの製品が増えてくると、もっとエンジンそのものに直接働きかけてくれるような、本格的な機能品を欲するひとも多いのではないだろうか。そんなひとにこそ紹介したいのが、この商品だ。考え方としては、エンジン性能そのものを向上させる装置で、対応する車種は「可変バルブタイミング機構」を備えたエンジン搭載車となる。「VTEC」や「VVT-i」などの言葉を聞いてピンと来る人も多いだろう。この可変バルブタイミング機構を任意で設定し、エンジンの性能をより引き出す装置がコレになる。

そもそも量産エンジンは、製造公差にして±5%ほどの幅があり、さらに設計誤差も当然のものとして存在するという。しかも、乗る人の扱いは千差万別。ゆえに、例えばエンジン全開で16万km持つような万全の余裕を持たせ、仕上げられているわけだ。そう考えれば、量産エンジンに能力向上の余裕を持たせられているのは半ば当然の話とも言える。そして、この世帯を引き出すのがこの商品と言え、その仕組みもわかりやすいだろう。

効果としてあげられるのは、身を感じる加速感と、実際に走っているスピード感のズレだ。それだけトルクが出ているとも言えるだろう。具体的な数値としては、燃費にして20~30%、トルクにして10~15%アップの可能性があるという。トルクそのものが向上すれば、自然とアクセルを踏み込む度合いも減り、エンジンの性能アップが燃費アップに貢献するのうなずける。

とくに人と荷物が満載で、坂道などに設計誤差も当然のものとして存在するという。しかも、乗る人の扱いは千差万別。ゆえに、例えばエンジン全開で16万km持つような万全の余裕を持たせ、仕上げられているわけだ。そう考えれば、量産エンジンに能力向上の余裕を持たせられているのは半ば当然の話とも言える。そして、この世帯を引き出すのがこの商品と言え、その仕組みもわかりやすいだろう。

動作自体はワンタッチでオンオフの切り替えができ、いつでも元の状態に戻すことができる。さらに言えば、本機の効果もスイッチ操作で比べられるのも一つのメリット。エンジンの仕組みをより理解するユーザーであるほど、使いこなし甲斐も多くの魅力は倍増するはずだ。

もちろん、メカに詳しくないごく一般的なひとでも、ウェブ上で公開されているメーカー推奨データを打ち込むだけで設定は完了する。インシャルの設定で物足りなくないれば、狭い増減幅で感じをつかみ、より自分好みの設定に仕上げられることもできる。自分仕様の省燃費スベシナルを作り上げることすらもまた可能というわけだ。